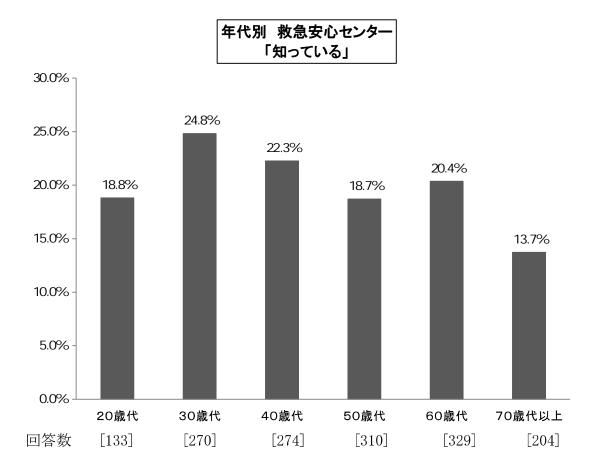
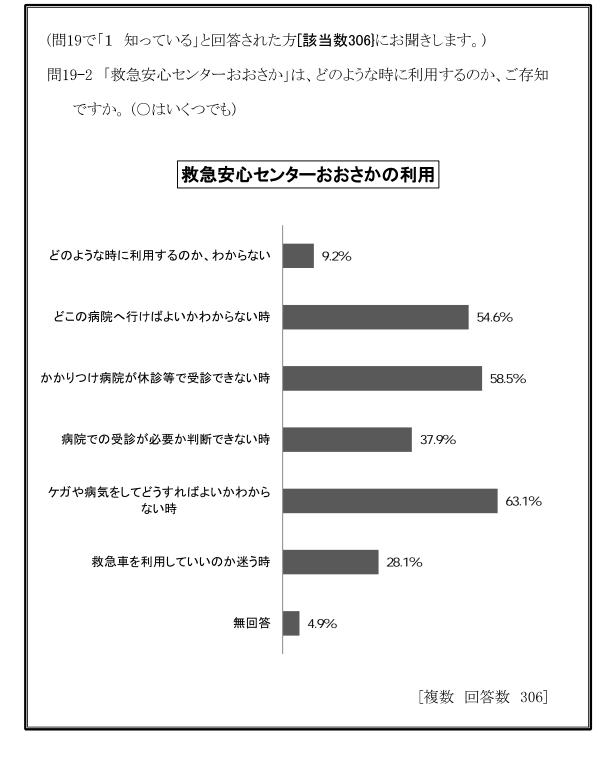


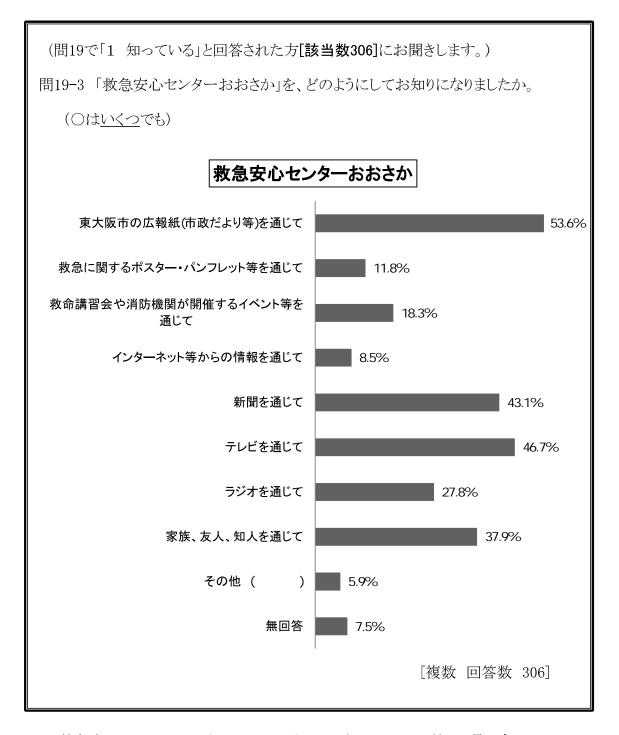
救急安心センターおおさかを「知っている」人は19.9%であった。



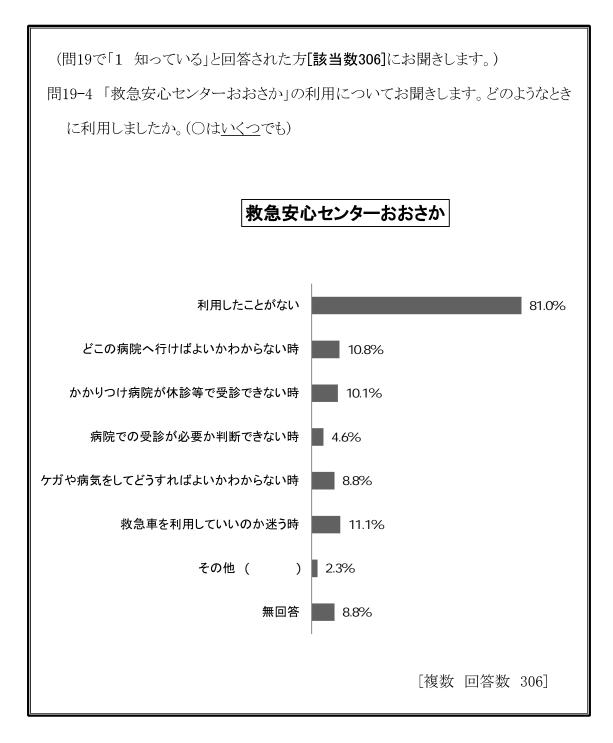
年代別にみると、救急安心センターおおさかを「知っている」割合が、最も多いのは30歳代で24.8%、ついで40歳代で22.3%となっている。



救急安心センターおおさかを、どのような時に利用するかの回答で、最も多いのは「ケガや病気をしてどうすればよいかわからないとき」63.1%、次が「かかりつけ病院が休診等で受診できない時」58.5%、「どこの病院へ行けばよいかわからない時」54.6% となっている。



救急安心センターおおさかを、どのようにして知ったかの回答で、最も多いのは 「東大阪市の広報紙(市政だより等)を通じて」53.6%で、次が「テレビを通じて」46.7%、 「新聞を通じて」43.1%となっている。



救急安心センターおおさかを、どのような時に利用したかの回答で、最も多いの は「救急車を利用していいのか迷う時」11.1%、ついで「どこの病院へ行けばよいか わからない時」10.8%、「かかりつけの病院が休診等で受診できない時」10.1%となっ ている。